

おうちで博物館めぐり え かいせつ

【007 ゲンジボタルとアスカイノデ】

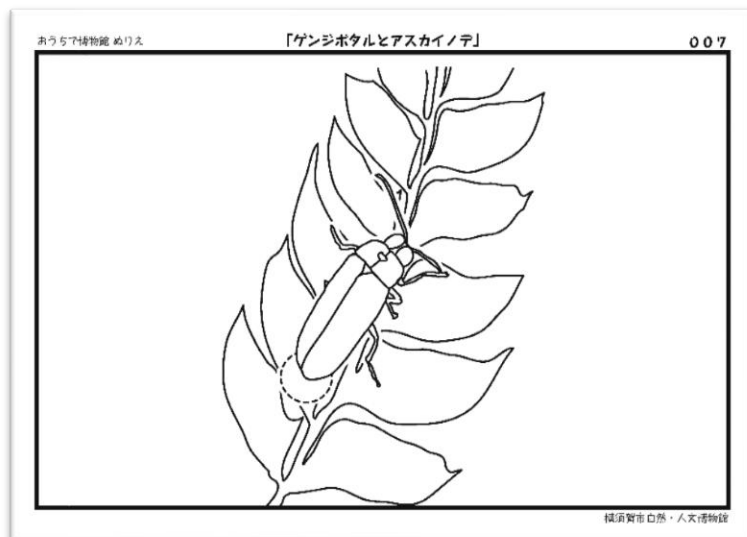
解説：ゲンジボタルは、横須賀の水辺で見られるホタルの一種です。おそめの初夏、日がしずんで暗くなると光りはじめ、およそ2時間、飛びながら光るなどのピークをむかえます。ずっと小さいけどよく似たヘイケボタルは、大きさのちがいでなく、赤い前胸（まえむね）をはしる黒いすじがちがいます。アスカイノデは、横須賀の木が生いしげった水辺によくみられるシダの一種です。地面ちかくに葉を大きくひろげるので、

水辺で羽化したばかりのゲンジボタルが、葉のうらにかくれたり、おもてにとまって光ったりするのを見ることができるかもしれません。なお、図案でゲンジボタルがとまっている、枝にならんだ「葉」のようにみえる部分は、小羽片とよばれるもので、枝にみえる部分とともに葉の一部を構成しています。

展示：博物館では、自然館1階「発光生物」のコーナーでみられるほか、自然館2階ジオラマ「森の様子」では、森林のジオラマにゲンジボタルの光りかたをまねた64このランプをいれています。

対象：小学校高学年（4～6年生）向け。

コツ：ゲンジボタルのからだや光の色、アスカイノデの葉のツヤなどをくふうしたり、水辺の風景をかいたりしてみよう。



めぐりえ図案「ゲンジボタルとアスカイノデ」（実際はA4判）



ゲンジボタル



アスカイノデ（右上・右下）

右上：葉をひろげたようす
（赤い囲みで1枚の葉）

右下：1枚の葉がさらに細かく分かれる